

夏祭りや花火大会での火事を防ぎましょう

☆火気器具を使うときには

夏になると花火大会や夏祭りなど多くの人が集まる楽しい催しがたくさん行われます。しかし多くの人が集まる催しでひとたび火災が起きると、大きな被害につながるおそれがあります。昨年11月には、イベント会場において熱を発生する照明器具に可燃物が接触し火災になり死傷者も発生しました。

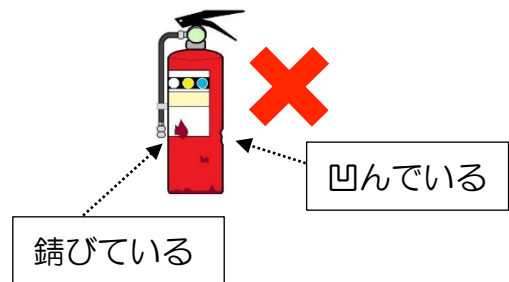
カセットこんろやガスボンベ、調理器具などを間違った方法で使用すると大変危険です。

楽しい夏の思い出を悲しいものにしないためにも、屋外でガスこんろなどの火気器具を使うときには次のことを必ず守りましょう。

(1) 消火器の準備！

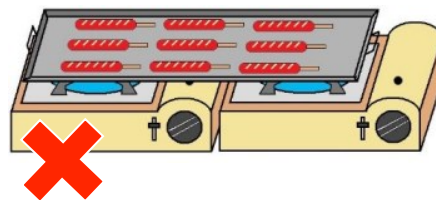
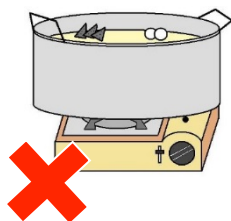
万が一のときに、適切に消火できるように消火器を準備しましょう。

錆びていたり、変形していたりする消火器は使わないでください。



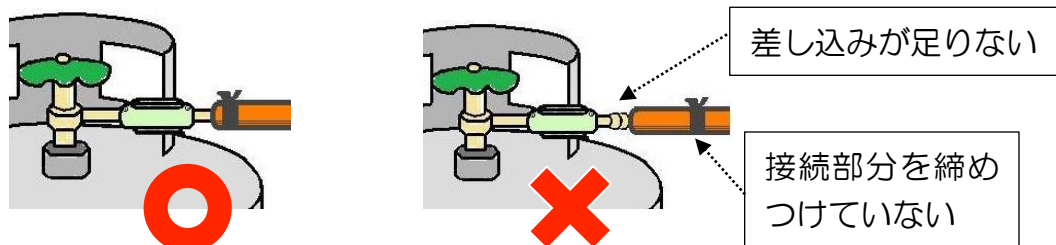
(2) カセットこんろは正しく使う！

カセットこんろより大きな鍋を載せたり、こんろを並べて使わないでください。ボンベが破裂して爆発する危険があります。

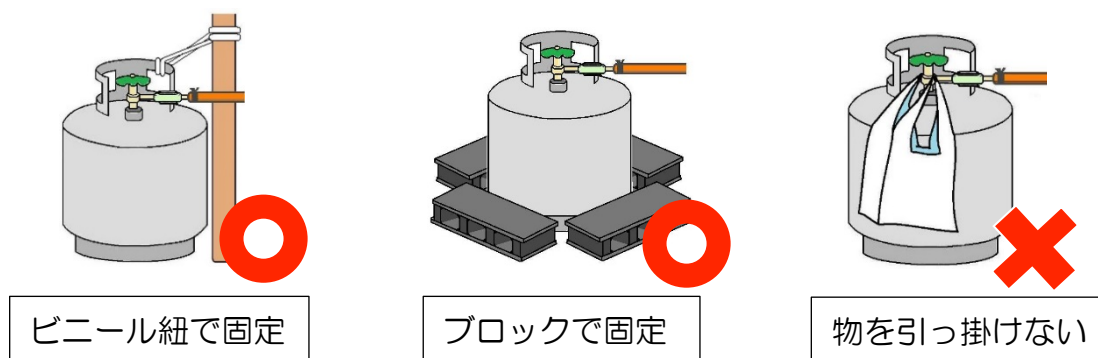


(3) ホースの差し込み、ボンベの固定はしっかりと！

ガス器具のホースはしっかりと差し込み、バンドなどで締めましょう。
ホースの差し込みが足りないと、ガスが漏えいし引火する恐れがあります。

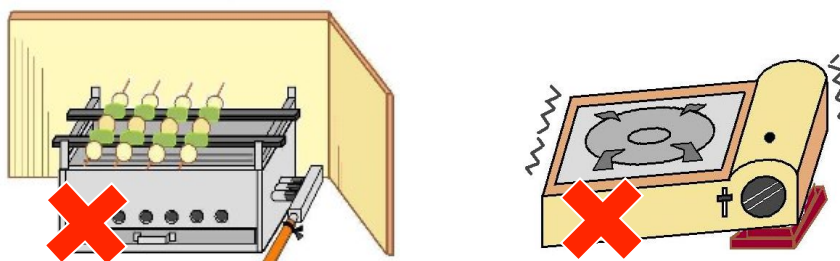


ガスボンベが転倒するとガスが漏れるなどの危険があります。
転倒しないようにしっかりと固定してください。



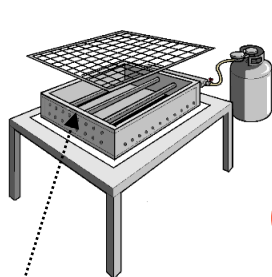
(4) 器具の周りは整理整頓！

器具の周りは整頓をし、ダンボールなどの燃えるものを近くに置いたり、不安定な状態で使ったりしないようにしてください

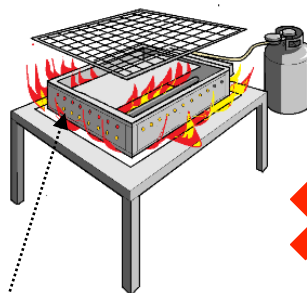


(5) 設置方法をしっかり把握！

器具の設置方法を正しく理解しましょう。設置方法を間違えると、可燃物との安全な距離が保てず、火災となる恐れがあります。



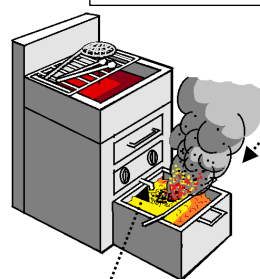
バーナーは上向きに設置



バーナーを下向きに設置しない

(6) 十分に冷ます！

フライヤーを使うときには、揚げかすに熱がこもらないように、重ねて多量に放置しないようにしましょう。

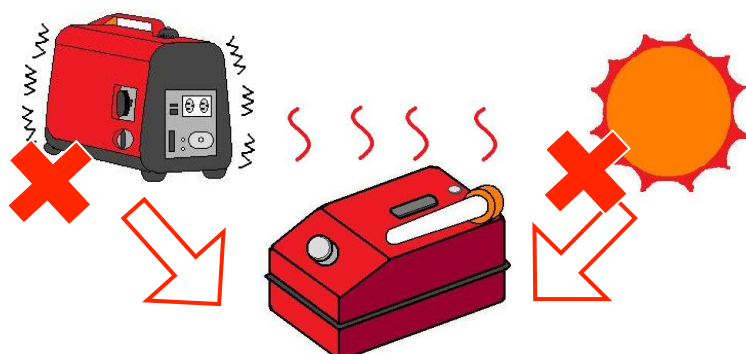


揚げかすは多量に集めない

排油は油が十分冷めてから行う

(7) ガソリンの適正管理！

ガソリン携行缶は高温部（使用中の発電機など）の近くや直射日光のあたる所に置かないでください。



(8) 照明器具は可燃物から離す！

熱を発生する照明器具等を装飾品、木板等の可燃物に近接して設けないでください。



☆消防署への届出について

火気を使用する露店等を開設する場合や、特に大規模な屋外催しを行う場合には消火器の準備や消防署への届出等が必要となります。

(1) お祭りや縁日、花火大会など多くの人が集まる催しの場合

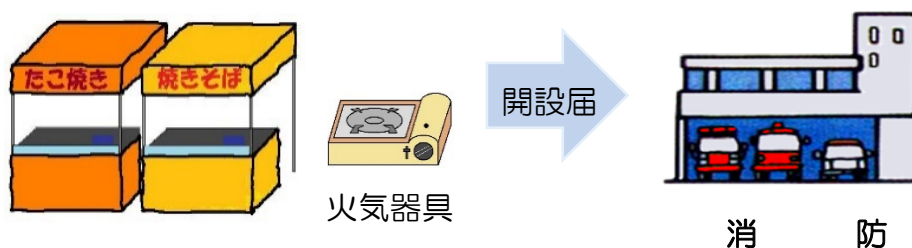
① 火気器具を使用するときには消火器を準備しましょう

調理器具や発電機など火気器具を使うときには消火器を準備してください。



② 露店等の開設を届出しましょう

露店等で火気を使用する場合には、露店等の開設の3日前までに消防署長に届出てください。

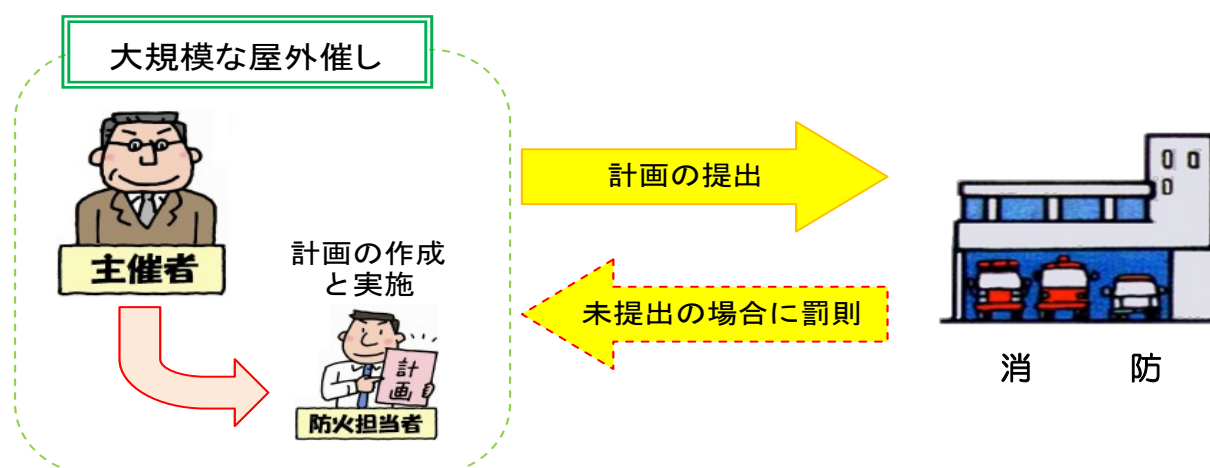


(2) 特に大規模な屋外催しを行う場合

一日当たり10万人以上の人出が予想され、主催者が出店を認める露店等の数が100店舗以上のものを大規模な催しとしています。

主催者は、事前に防火担当者を決め、火災予防上必要な業務に関する計画を作成し、消防署長へ提出しなければなりません。

消防署への提出を行った催しは、「火災予防に取り組んでいる特定大規模催し」として公表され、提出等が行われていないものは、「火災予防が必要な指定催し」として公表されます。



現在の特定大規模催し及び指定催しの状況については、東京消防庁ホームページや催しが開催される区域の消防署等で確認できます。

東京消防庁ホームページ <http://www.tfd.metro.tokyo.jp>
～ ホームページ内を以下のメニューに沿って進んでください ～

トップページ ⇒ 「公表・報告」 ⇒ 「多数の者の集合する催しにおける火災予防」 ⇒ 「特定大規模催し一覧表」「指定催し一覧表」